

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年9月分)

平成28年10月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
  - (1) 国家レベル
  - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)
- イ ブルチュコ特別区
2. 外政
  - (1) 国際機関、フォーラム
  - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
  - (1) 経済指標
  - (2) 経済政策、公的事業
  - (3) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

● BH中央選挙管理委員会が「RSの日」に関する住民投票に対して有権者リストの提供を拒否(1日)

BH中央選挙管理委員会は、RS住民投票委員会が、「RSの日」に関する住民投票の実施に際して有権者リストの提供を要請したことに対して、「正当化出来ず、受け入れられない」と、これを却下する判断を下した。

● BH憲法裁判所がRS国民議会による判決見直しの申立てを棄却、「RSの日」に関する住民投票を同憲法裁の最終判断まで実施しないよう命令(17日)

BH憲法裁判所は、同裁判所による「RSの

休日に関する法律」に対する違憲判決の見直しを求めるRS国民議会の申立てに対して、これを正当化する新たな事実が提供されなかったとして棄却した。

また、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長等による、「RSの日」に関する住民投票の合憲性審査に関する申立てについては、これを受理し、暫定措置として、同憲法裁による最終判断が下るまで、RSにおいて本件に関する住民投票を行わないよう命令した。

● ハリロビッチ「ボスニア愛国党(BPS)」党首(BH下院議員)が住民投票による緊張を煽る発言(19日)

ハリロビッチBPS党首(BH下院議員、元BH共和国軍司令官)は、テレビ番組のインタビューに応じて、RSにおいて「RSの日」に関する

る住民投票が実施された場合、 Dayton合意の直接的な侵害であり、 Dayton和平合意の終焉を意味すると述べ、 BHが再び紛争に陥れば、 RSは「消滅」し、「BHからの離脱は平和裏には達成されない」と発言した。

同発言は、ダッチ・セルビア外相やブッチ・セルビア首相及びドディックRS大統領らの非難を集める一方、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長(ボシュニャク系)は、「(ハリロビッチBPS党首の)懸念は理解し得る」と発言した。

#### ●「RSの日」に関する住民投票の実施(25日)

RSにおいて、1月9日を「RSの日」として祝うことを望むかを問う住民投票が実施された。同住民投票実行委員会の発表によると、121万9,399人の有権者のうち、投票を行ったのは68万116人で、投票率は55.67%、そのうち、1月9日を「RSの日」として祝うことを「望む」とこたえたのは、99.81%(67万7,721人)だった。この住民投票は、RS内1,885箇所と、BH国外27箇所の投票所で実施された。

#### ●BH検察庁が「RSの日」に関する住民投票の実施について捜査中であることを発表(26日)

BH検察庁は、「RSの日」に関する住民投票を実行したことが、BH憲法裁判所判決の不履行にあたる可能性があるとして、本件を捜査中であることを伝え、ドディックRS大統領を容疑者として、事情聴取のために召喚したことを認めた。ドディックRS大統領は、召喚に対して、サラエボでは「生命の危険がある」として、RS内での聴取にのみ応じると表明した。

BH刑法には、BH憲法裁判所判決の履行を妨げた場合に禁固刑を科す規定が存在する。

#### ●高等司法検察評議会(HJPC)がサリホビッチBH検察庁長官の停職を決定(28日)

HJPCの懲戒委員会は、サリホビッチBH検察庁長官に対する職権濫用の疑惑に関して、同委員会が最終的な処分を決定するまでの期間、同長官を停職に処することを決定した。その間、タディッチBH検察庁副長官が長官の業務を代行する。サリホビッチBH検察庁長官は、疑惑を否認している。

## (2)エンティティ、特別区

### ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●BH連邦上院が相次いで休会(7日及び15日)

7日に実施されたBH連邦上院第14回通常会合は退役軍人についてカントン(県)裁判所に管轄権を与える退役軍人関連法案等について審議するも、投票時に定数に満たなかったために休会した。

15日には、第15回通常会合が実施され、IMFの融資受入れに関する決議案や森林に関する法案、くじに関する法律改正案が審議されたが、ボシュニャク系議員団は手続における問題を指摘して会合への不参加を決定、同会合も休会となった。

### イ ブルチュコ特別区

#### ●ブルチュコ特別区議会が16年度同特別区予算を採択(5日)

ブルチュコ特別区議会は、複数の休会を経て、16年度同特別区予算を採択。同会合には、クロアチア農民党(HSS)所属議員2名(クロアチア系)が欠席しており、議決に必要

な各民族の定足数は満たされていなかったが、同議会は、同HSS所属議員2名による欠席の繰り返しは、明らかに規則の濫用であり正当化出来ないとする決議を採択した。

## 2. 外政

### (1) 国際機関、フォーラム

#### ●IMF理事会がBHへの拡大信用供与措置(EFF)による融資を承認(7日)

EFFによる融資総額は、3カ年で5億5,330万ユーロ。そのうち、7,920万ユーロが第1回融資として提供される。

#### ●EU総務理事会がBHのEU加盟候補国申請を受理(20日)

EU総務理事会は、BHのEU加盟プロセスの進展について合意し、欧州委員会に対して、BHがEU加盟候補国としての条件を満たすか否かの審査に入ることを要請した。

これを受けて、欧州委員会からは、BHに対して数々の分野に関する質問票が送付される。

#### ●イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長が国連総会に出席及び演説(21日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、国連総会における演説で、移民危機に対する政治的解決の必要性を訴え、過去に何十万人もの国民が故郷を追われた経験を有する国として、同問題の解決に関心を払っている、と述べた。同議長は、アジェンダ2030への支持を表明し、経済社会理事会の理事国として、積極的な役割を担う意向を示した。テロの脅威について、問題の根深さ及び複雑性を指摘したうえで、イスラム教を含む如何なる宗教に

よっても、暴力的過激主義及びテロ活動は許容されないと述べ、BHとしてテロとの戦いに取り組むことを強調、抑圧的な方法だけではなく、広範な分野、特に差別、偏見、排他主義を排除するための取組が必要とした。

### (2) 要人往来、国際会議等

#### ●セルビア系政治家らがベオグラード訪問、RSにおける住民投票についてニコリッチ・セルビア大統領及びブチッチ・セルビア首相と会合(1日)

会合には、イバニッチBH大統領評議会メンバー(PDP)、ボシッチBH下院議長(SDS)、ドディックRS大統領(SNSD)及びツビヤノビッチRS首相(SNSD)が参加した。会合後、ニコリッチ・セルビア大統領及びブチッチ・セルビア首相は、「RSの日」に関する住民投票は支持しないが、BHの内政に干渉する意図はない、との姿勢を示した。

#### ●チョービッチBH大統領評議会メンバーがベオグラード訪問、ブチッチ・セルビア首相と会談(1日)

両首脳は、セルビア人(系)とクロアチア人(系)の関係が将来的に良好であることへの期待を表明し、両者間には、過去に関して見解の相違はあるも、本質的な障害はないとの見方を示した。ブチッチ・セルビア首相は、RSにおける住民投票が域内情勢の緊張につながらないことへの希望を表明し、域内の平和と安定の維持のために、セルビアは出来る限りのことを行うと述べた。

#### ●ズビズディッチBH閣僚評議会議長がブリュッセルでモゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表及と会談(6日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長はモゲリーニEU外務・安全保障担当上級代表に対して、BHのEU加盟プロセスへの強いコミットメントを表明した。同人は、BHがEU加盟プロセスを進展させるための調整メカニズムの設置や改革アジェンダの進展、SAAの調整に関する条件を満たしたと伝え、17年末までにEU加盟候補国のステータスを獲得するためにBHが義務を果たすことへの確信を述べた。モゲリーニEU上級代表は、BHにおける進展を歓迎した。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長がブリュッセルでストルテンベルグNATO事務総長と会談(6日)

会談において、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、NATO加盟がBHの戦略的外交戦略の一つであることに言及した。同人は、BHは地域及び世界の平和、安定、安全及び発展を向上させ、防衛及び治安分野における協力を深化させる意思があると伝えた。また、BHがNATO加盟行動計画(MAP)発効に向けた条件を満たすために取り組んでいることを伝えた。ストルテンベルグNATO事務総長は、BHによるMAP発効の条件に関する進展を歓迎した。

●イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長が国連総会出席のためのニューヨーク訪問中、各国要人と会談(20日から22日)

20日、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、モゲリーニEU外務・安全保障担当上級代表、ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員、トウスク欧州理事会議長らと会談。EU側からは、BHの加盟候補国申請がEU総務理事会において受け入れられたことへの祝辞を

伝えた。両者は、BHがEU加盟に向けて前進していることを確認した。

21日、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、潘国連事務総長と会談した。潘国連事務総長からは、BHのEU加盟プロセスにおける進展への祝意が伝えられ、両者は国連平和構築基金や「未来のための対話：BHにおける強制と多様性の促進」事業について協議した。

同日、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長はジョンソン英外相と会談。ジョンソン英外相は、BHのEU加盟への進展と改革の進行を歓迎し、英国はBHのEU加盟に向けて支援を継続すると述べた。

また、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、「クリントン・グローバル・イニシアティブ」の年次会合に出席し、その後クリントン元米大統領と会談。BHのEU及びNATO加盟について協議した。

このほか、21日、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、オバマ米大統領主催のレセプションに出席した。

22日、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長はパホル・スロベニア大統領と会談し、BH及び地域情勢について意見交換を行った。パホル・スロベニア大統領は、スロベニアがBHのEU加盟を引き続き支持することを伝えた。両名は、経済協力を中心とした二国間協力についても協議した。

●ドディックRS大統領がモスクワ訪問、プーチン露大統領と会談(22日)

RS大統領府の発表によると、プーチン露大統領は、域内の安定及び Dayton 和平合意への支持を表明した。ドディックRS大統領からは、BH情勢に関する説明が行われた。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

##### ● GDP成長率(予測)

世界銀行は、最新の南東欧定期経済報告の中で、16年のBHの経済成長率を2.8%と予測し、15年の3.0%から減速するとの見方を示した。他方、17年には3.2%に加速し、計画に従って構造改革が実現すれば、18年には経済成長率が3.7%に達すると予想した。

##### ● 産業生産高

BH統計局の発表によると、16年8月の産業生産高は、16年7月と比較して、1.1%の上昇。15年8月との比較では2.5%の上昇。

##### ● 雇用/失業者数

BH統計局の発表によると、16年7月のBH全体の雇用者数は728,668人。同月の失業者数は520,065人で失業率は41.6%(前月と同水準)となった。

##### ● 平均給与

BH統計局の発表によると、16年7月のBHにおける平均給与は832KM(約425ユーロ)で、前年同時期との比較で名目0.6%減となった。

##### ● 消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年8月の消費者物価指数は平均で前月比0.3%の減少。前年比では1.2%の減少。

##### ● 貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から8

月のBHの輸出額は60億3,200万KM(約30億8,400万ユーロ)、15年同時期と比較して2.2%増)、輸入額は103億9,400万KM(約53億1,400万ユーロ、15年同時期と比較して0.2%減)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から8月):①ドイツ(9億9,560万KM/約5億900万ユーロ)、②イタリア(7億3,920万KM/約3億7,790万ユーロ)、③クロアチア(6億4,720万KM/約3億3,090万ユーロ)、④セルビア(4億9,560万KM/約2億5,340万ユーロ)、⑤オーストリア(4億8,730万KM/約2億4,920万ユーロ) 参考:日本(87万7,000KM/約44万8,000ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から8月):①ドイツ(12億9,600万KM/約6億6,300万ユーロ)、②イタリア(12億1,700万KM/約6億2,200万ユーロ)、③セルビア(11億7,300万KM/約6億万ユーロ)、④クロアチア(10億2,600万KM/約5億2,500万ユーロ)、⑤中国(7億980万KM/約3億6,300万ユーロ) 参考:日本(5,913万KM/約3,023万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

##### ● 観光客数

BH統計局の発表によると、16年7月、BHにはのべ128,474人(うち日本からは408人)の観光客が訪れ、前年の同時期と比較して23.8%増加した。

##### ● 対外債務

BH中央銀行の発表によると、16年第2四半期のBHの対外債務は総額86億4,500

万KM(約43億6,900万ユーロ)。

## (2) 経済政策、公的事業

### ● ゼニツァ近郊でブランドウク水力発電所の建設開始(8日)

オーストリア「Strabag」社とクロアチア「Koncar」社は、ブランドウク水力発電所の着工式典後に作業を開始。同水力発電所建設にかかる費用は約5,600万ユーロで、電力供給公社「Elektroprivreda BiH」社、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行の資金によって実施される。ブランドウク水力発電所の発電量は19.6メガワット。

### ● サラエボのケーブルカー建設に関する契約が署名される(8日)

コムシッチ・サラエボ市長と、イタリア「Leitner」社は、サラエボ・ケーブルカーの建設にかかる計画策定、資材提供、設置及び試験運用に関する契約に署名した。作業完了への期限は12ヶ月間。同事業は、紛争により破壊されたサラエボ市内とトレベチ山をつなぐケーブルカーを修復するもの。

### ● プルニャボル・ドボイ間の高速道路開通(11日)

バニャ・ルカとドボイをつなぐ高速道路の一区間であるプルニャボル・ドボイ間36キロメートルが開通し、ドディックRS大統領とブチッチ・セルビア首相が開通式に出席した。この高速道路の建設には、欧州復興開発銀行(EBRD)の融資が提供されている。

### ● オジャク市においてBHとクロアチアを結ぶ橋の建設開始(14日)

BH北部のオジャク市ドニ・スピライ内のサバ

川にかかり、BHとクロアチアを結ぶ橋は、プタペストからクロアチア南部のプロチェをつなぐ「5c回廊(Corridor 5C)」の一部で、全長660メートル。総工費は2,230万ユーロが見積もられており、EU資金の提供を受けて、BH及びクロアチアの両国が折半する。

### ● チェコ「Mavel」社がRSにおけるエネルギー事業実施を検討(19日)

ジョキッチRS産業・エネルギー・鉱業相とチェコ「Mavel」社代表団が、チェコ輸出銀行を通じた2,500万ユーロ相当のエネルギー事業実施についてバニャ・ルカで協議を行い、「Mavel」社、「Elektroprivreda RS」社、RS及びチェコの担当省庁による作業チームを形成し、事業実施に取り組むことを決めた。

### ● BH連邦政府が製薬会社「Bosnalijek」社の株式売却額の引き下げを決定(28日)

BH連邦政府は、16年民営化計画の一環として、「Bosnalijek」社の株式19%の売却を目指しているが、その1株あたりの売却額を15.5KMから14.73KMに引き下げることを選んだ。

同政府は、今年7月に「Bosnalijek」社の株式売却を試みたが、買手は現れなかった。

## (3) 民間企業

### ● 「スタンダード・アンド・プアーズ」社がBHの短期及び長期ソブリン格付を「B/B」で維持(9日)

格付の理由として、BHがIMFから3ヵ年で5億5,330万ユーロの融資を受けることで、政府の財政的懸念が緩和され、改革の履行の財政的後ろ盾が得られることを理由とした。同社は、格付の見直しについても、国外からの

融資の流入や財政安定化を基に、「安定」の見方を維持した。

●「ブリティッシュ・アメリカン・タバコ(BAT)」社がBH「Fabrika Duhana Sarajevo(FDS)」社のタバコ部門の買収を検討(15日)

BAT社の声明によると、買収はオーストリア「CID Adriatic Investments(CID)」社を通じて間接的に行い、BAT社はFDS社のタバコ部門の買収に関する独占的交渉に入りたいとの考え。

CID社は、BAT社の資金を用いて、BH連邦政府からFDS社の株式の39.9%を購入している。

(了)